

平成 29 年度 第 6 回宮崎支部評議会の概要報告

開 催 日 時	平成 30 年 3 月 12 日（月）13：25～15：25
開 催 場 所	宮崎支部会議室
出 席 者	大迫評議員、佐藤評議員、谷口評議員、野崎議長、福島評議員、安井評議員（五十音順）
議 題	
(1) 平成 29 年度九州ブロック評議会の報告について (2) 平成 29 年各グループにおける事業説明について(業務部レセプトグループ、業務グループ(給付)) (3) 平成 30 年度宮崎支部評議会スケジュール(案)について (4) 加入者の医療保険制度等の認知に関する調査について (5) その他	
議 事 概 要（主な意見等）	
(1) 平成 29 年度九州ブロック評議会の報告について ■出席された評議員の方より報告をいただきました (学識経験者) ブロック評議会の議題となったのが、まず、平成 30 年度における保険料率についてであった。幹事支部である長崎支部からかなり詳しい医療費分析についての報告があり、私からは宮崎支部評議会における主な意見を述べた。他の支部においても保険料率については多くの意見が交わされたようであった。二つ目の議題としては、インセンティブの制度についてであった。議長から詳しい説明がされ、私からは宮崎支部評議会における意見を述べた。インセンティブ制度に関して、他支部からも活発な意見が出されていた。 (学識経験者) 会議が九州各支部の意見・情報交換ということで意義があったと思う。また、本部から藤井理事が出席されていて、本部の方に意見が言えるという場でもあったので、そういう意味でも意義があったと思う。評議員 15 名の出席で、議題の他にも、協会けんぽとして社会保障制度を維持するにはどうしたらいいか、といった長期的な意見もあり非常に参考になった。支部からも国や本部に対し提言していくべきと感じた。 (2) 平成 29 年度各グループにおける事業説明について (業務部レセプトグループ) ■資料に沿って事務局より説明。 ■主な意見や質問など (事業主代表) かなりの件数のレセプトを点検をされると思うが、どれくらいの人数で行っているのか。 (事務局) 資格点検と外傷点検を行っている人数が 5 名、内容点検を行っている人数が 9 名です。この人数で毎月	

点検を行っております。

（事業主代表）

人数に比べて件数が多いと感じる。レセプトの自動点検、というのがあるがこれはどういうシステムなのか。

（事務局）

診療報酬のルールがあり、このルールを自動点検のマスタに登録します。登録されたルールで洗い出しを行い、洗い出されたレセプトを職員が点検をすることになります。この自動点検というのは、毎月支払基金に再審査請求を行いその結果によってマスタを優良なものに入れ替えていく必要があります。その作業がうまくいけば自動点検の効率が上がると思います。

（事業主代表）

自動点検で洗い出される割合はどれくらいなのか。

（事務局）

受付レセプトに対して約 1 割です。ただ、数だけの問題ではなく、その中でいかに再審査請求が効率よくできるか、ということもありますので、マスタの精度を上げる必要があります。

（被保険者代表）

複数の医療機関で診療を受けている人もいると思うが、過剰に薬を処方されているといったことはわかるのか。

（事務局）

わかります。過剰に薬剤を処方してもらっている方に対して、どうやって適正化していくか、ということも私共の大きな仕事でございます。

（業務部 業務グループ）

- 資料に沿って事務局より説明。
- 主な意見や質問など

（事業主代表）

出産育児一時金についてどのくらいの件数なのか。

（事務局）

ひと月 400 件程度です。

（事業主代表）

出産手当金も合わせると金額はどれくらいなのか。

(事務局)

28年度のデータでは年間約26億円くらいです。

(事業主代表)

出産に関する手当が低いと感じるが、保険にも限界があると思う。保険以外の政策で手当のようなものはあるのか。

(事務局)

出産にかかる手当ではないですが、医療においては、自治体によって内容が異なると思いますが子供の医療費無料を中学生まで延長するということもあります。また、出産育児一時金や高額療養費については請求されていない方に対して案内を送付しておりますが、それでも請求されない方もおられます。保険制度を知らない方が多い中、どのように広報していくかが課題と考えています。

(被保険者代表)

患者は知らなくても医療機関は知っていると思うので、医療機関から対象の人に説明をするということのも大事だと思う。医師会も関わってくることだが。

(事務局)

医療関係者向けの研修を行い、医療機関を通して加入者にお知らせしていきたい。医師会を通じて医療機関に依頼していくことになります。

(3) 平成30年度宮崎支部評議会スケジュール(案)について

■資料に沿って事務局より説明。

(4) 加入者の医療保険制度等の認知に関する調査について

■資料に沿って事務局より説明。

■主な意見や質問など

(被保険者代表)

制度等について、事業主がある程度認識しているのはよくわかる。ただ、従業員、扶養家族まで情報が届いているかというところではない。ホームページを見る人も少ないと思うし、その状況でいかに認知率が低くて必要なものを周知していくか。もっと知恵を出して広報について取り組んでいかないといけない。制度について認知率が低いようでは、医療費を低くしようとか、そういう道は遠いのではないか。従業員・家族も一翼を担っているという意識がもう少しないと、健康づくり事業に関しては難しいと率直に思う。

(被保険者代表)

被保険者の人たちも協会けんぽのホームページを見る人は少ないし、メルマガ登録している人も少ない。今までずっと言い続けてきたことではあるが、もう少し効果的にできないものか。やはり健康保険委員

とか、宮崎支部の発信力、ここにかかってくると思う。

（事務局）

認知率についてなかなか上がらないというのが協会けんぽの一つの課題です。限られた予算内でいかに効率よく認知率を上げるための発信ができるかが重要であると考えております。

特記事項

- ・ 傍聴 宮崎支部職員 1 名
- ・ 次回の評議会は、平成 30 年 5 月に開催予定